



Beltone™

Solus Max Ver.2.3 & Boost Max S

ブーストマックスS

充電式パワーBTE

基本操作テクニック&110番



NJH
NEW JAPAN HEARING AID

A

顧客データの作成をしましょう。

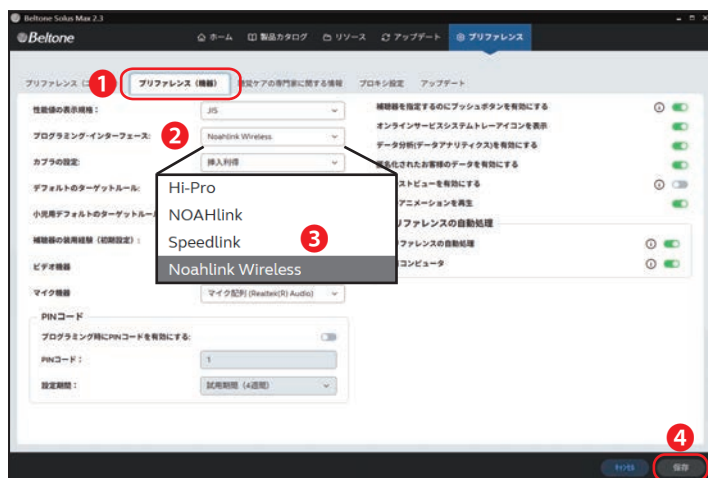
1

Beltone
Solus
Max

Beltone Solus Maxを左ダブルクリックで開きましょう。

※ Ver.2.1 より、補聴器を接続する時点であらかじめ設定されたインターフェースを自動的に探しにいくよう仕様変更がありました。初期設定は「Speedlink」となっているためスムーズに接続できるように、メインで使用しているプログラミング・インターフェースへ設定を変更しておくようおすすめいたします。

2

上部の「プリファレンス」を左クリックします。


- ① 「プリファレンス（機器）」タブを左クリックします。
- ② 「プログラミング・インターフェース」部「Speedlink」を左クリックします。
- ③ プルダウンしてきたものから、使用する機器を選択します。
(「Noahlink Wireless」へ変更します。)
- ④ 右下の「保存」をクリックします。

これでプログラミング・インターフェースの変更が完了しました。

3 「ホーム」に戻り、中央の「お客様を追加または選択する」を左クリック^{🖱️}して顧客画面を開きます。



新規登録の場合

1. ① **新しいお客様を追加**

を左クリック^{🖱️}します。

2. **個人情報**
* 必須項目です
姓 * 名 *
必ず 名・姓 とも入力します。
未入力があるとエラーとなり
保存できません。

再調整の場合

1. ② で顧客の検索をします

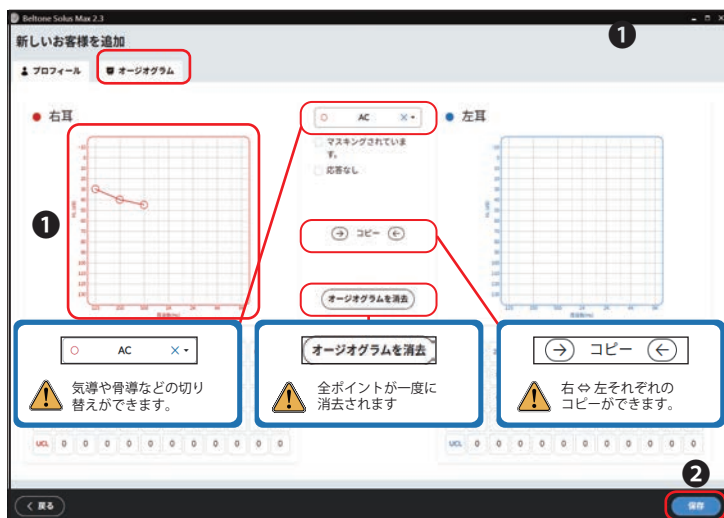
姓・名（一部でも可）
入力で検索可能です。



※ 顧客を選択してから
4 へ進みます。

4 **オーディオグラム** 「オーディオグラム」を左クリック^{🖱️}します。

※新規の場合 もしくはオーディオグラムを変更したい場合に使用します。



① グラフ上で左クリック^{🖱️}しながら、
左右のオーディオグラムを入力します。
(右クリック^{🖱️} は入力取り消し)

② 右下の **保存** を左クリック^{🖱️}し、



と表示されたら保存完了です。

5 開いたウィンドウの中の **新規セッション** ボタンを左クリック^{🖱️}します。

6 開いたウィンドウで **Beltone Solus Max に接続する** をクリックします。



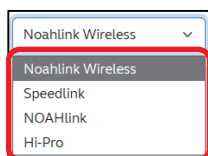
このウィンドウに入ると、自動で補聴器を探しに行きます。
2 でプログラミングインターフェースを変更していない場合
次の方法でも変更が可能です。

B これから Envision の接続を始めましょう。

ステップ①

補聴器の自動検索が終わったら、左上の **Noahlink Wireless** 部分の  を左クリック  します。

ステップ②



【対応インターフェース】：Noahlink Wireless のみ

プログラミング・インターフェースの中より「Noahlink Wireless」を選択します。
(今までの「Airlink2」/新しい「Noahlink Wireless2」をお使いの方も、「Noahlink Wireless」を選択します。)

ステップ③

補聴器の電源を入れます。
その後「Noahlink Wireless」にできるだけ補聴器を近づけて置いてください。

電源の入れ方

[電池式補聴器]
補聴器のバッテリーロッカーを開けてオンにする

[充電式補聴器]
補聴器のプッシュボタンを5秒間長押ししてオンにする

⚠ 充電式は電源が入ってから **1分以内** に接続してください。
それ以上になると、再度「オン」「オフ」をするようにうながされる可能性があります。



【確認方法】

LED表示	電源オン:1秒点灯
	電源オフ:3回点滅

ステップ④

① 再度 **検索** を左クリック  して補聴器を検出します。

② 補聴器の検出時に右記のような表示が出ます。
「」(ビーブ音)をクリックして確認し、「右(左)を指定」または「左右へ割当」をクリックすると、左右へ割り振られます。



③ 右下の **続行** を左クリック  します。

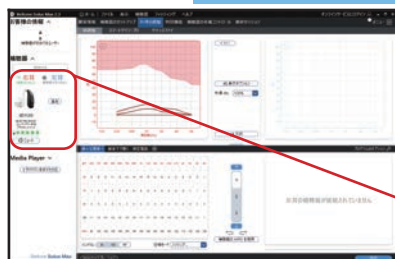
ステップ⑤



試聴器にグレードを選択できるものができました。
これにより1台の試聴器で各グレードが試せます。
補聴器接続後グレード選択の画面になりますので、任意でグレードを選んでください。

続行 を左クリック  します。

※ 最後にキャリブレーション画面が表示され、「続行」をクリックしたらフィッティング画面に入ります。



③ この画面になったら、補聴器の接続は完了です。

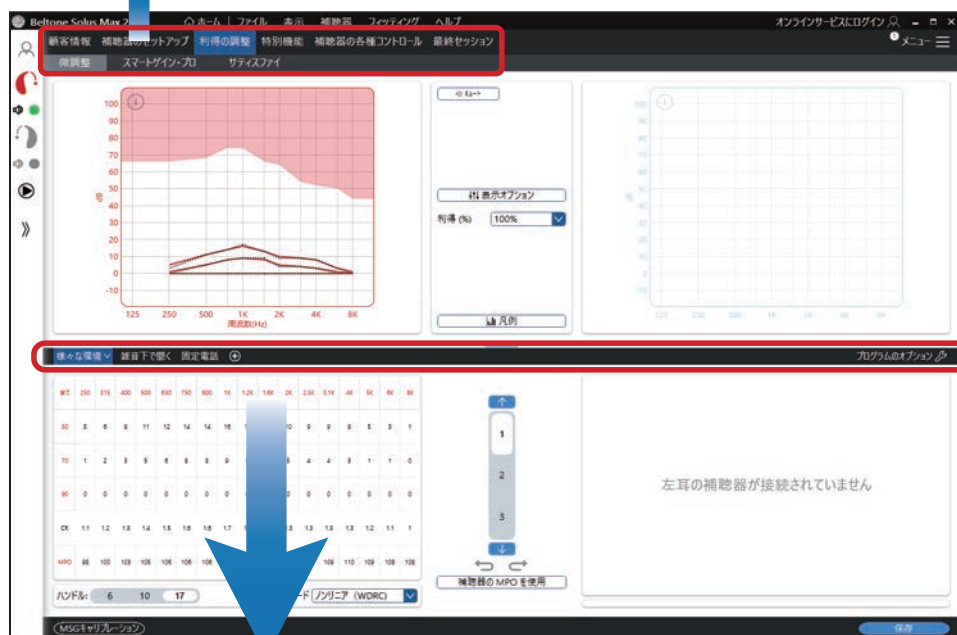
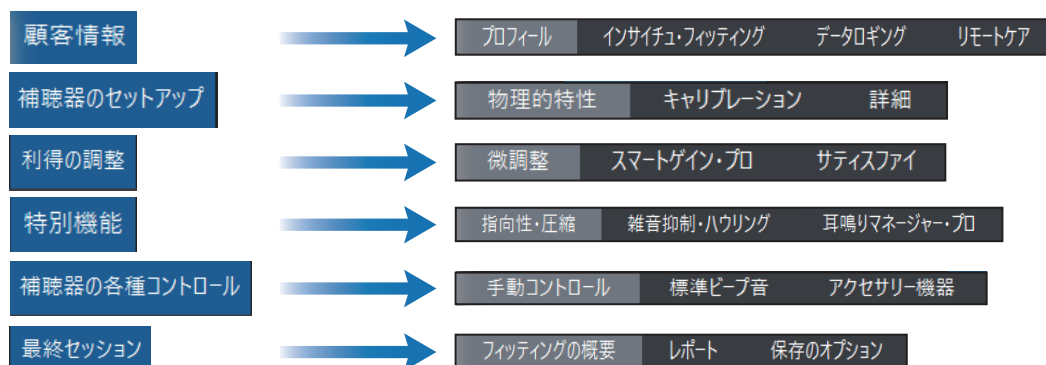


充電残量がソフト上で確認できます。



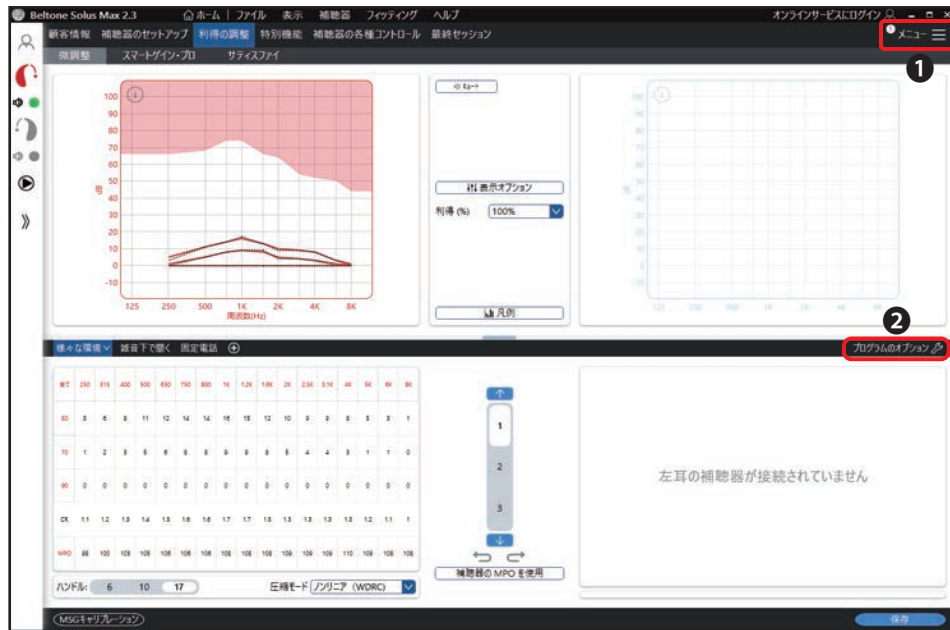
Boost Max S のフィッティングをします。

補聴器接続後、画面左上の目的の項目をクリックし、フィッティングの画面に移ります。



プログラムボタン

プログラムのオプション
(自動調整・プログラムの管理など)



ポイント

フィッティングをどのようにすればいいかわからない場合

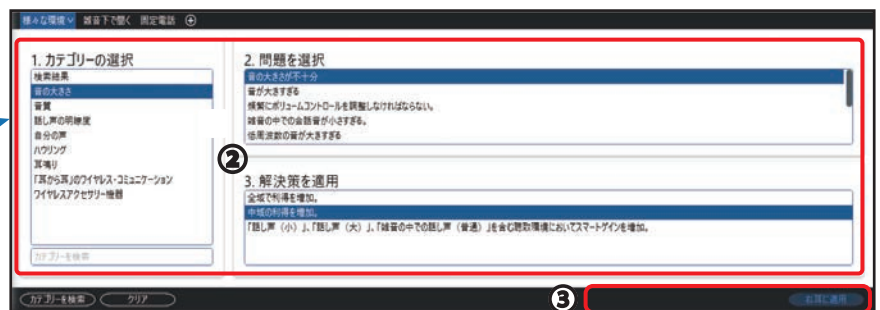
① 右上にある「メニュー」を左クリックしてください。内容が提示されます。



① 「Solus Maxのガイド」を左クリックしてください。

② 開いたウインドウで番号順に必要な項目を左クリックしてください。

③ 右下のボタンで適用させたい耳を左クリックしてください。



※ Solus Proでの調整の場合、「フィッティングウィザード」の名称になります。

ポイント

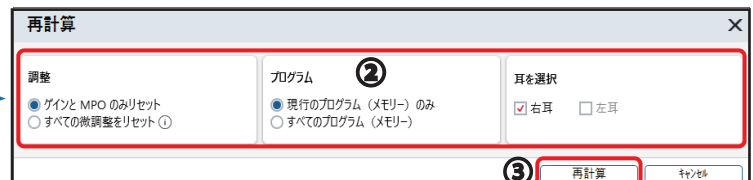
お客様の聴力にあわせて自動調整を行いたい場合

② 右中段にある「プログラムのオプション」を左クリックしてください。内容が提示されます。

① 「再計算」を左クリックしてください。再計算ウインドウが開きます。

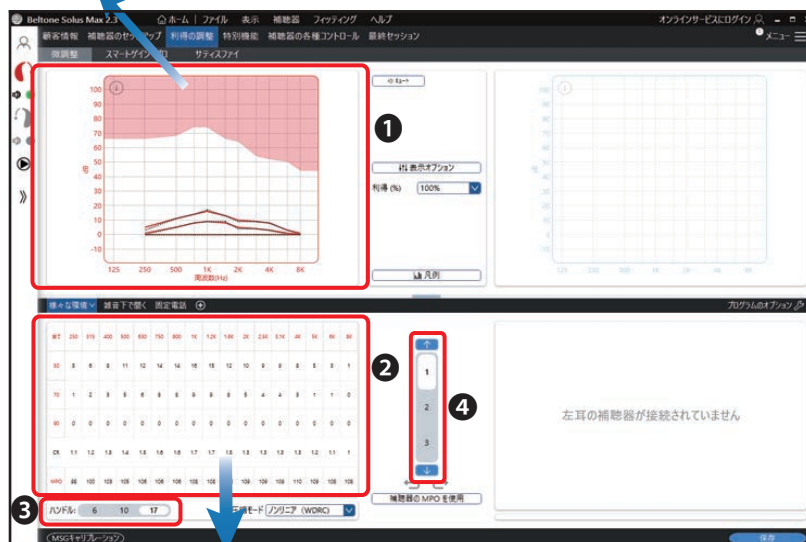
② 再計算をする調整・プログラム（メモリー）・適用耳を選択し、左クリックします。

③ 左下の「再計算」ボタンを左クリックしてください。



D グラフを見ながら、音量の調整をしていきます。

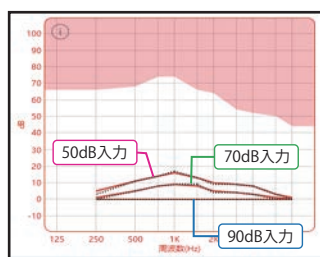
① グラフ (50dB 入力 / 70dB 入力 / 90dB 入力)



③ 「ハンドル」を変えることで細かく調整できる周波数域を増減できます。

Boost Max S 17 (6 / 10 / 17)
Boost Max S 9 (4 / 8 / 14)
Boost Max S 6 (3 / 6 / 12)
Boost Max S 4 (3 / 6 / 12)
Boost Max S 3 (3 / 6 / 12)

② 利得 (50dB / 70dB / 90dB) / MPO 音量の増減 (幅)



全て	50	70	90	MPO
50	70	90	MPO	
50	70	90	MPO	
50	70	90	MPO	
50	70	90	MPO	
50	70	90	MPO	

周波数・入力音全体

周波数(Hz)

	全て	250	500	1K	2K	4K	8K
入力音(dB)							
50	5	11	16	10	8	1	
70	1	5	9	5	3	0	
90	0	0	0	0	0	0	
CR	1.1	1.4	1.7	1.3	1.3	1	
出力音(dB)							
MPO	98	105	108	109	110	108	
		低音域	中音域	高音域			

※ 6/ハンドル選択時

④ 利得調整と出力調整をします。まずは音量の増減を行い、その後MPOの増減を行います。

⇒ ① 縦に並んだ数字の 1・2・3 (dB) より増減幅を選択し左クリック します。

② キーで入・出力音の増減をします。

これらを、必要な回数分左クリック して下さい。

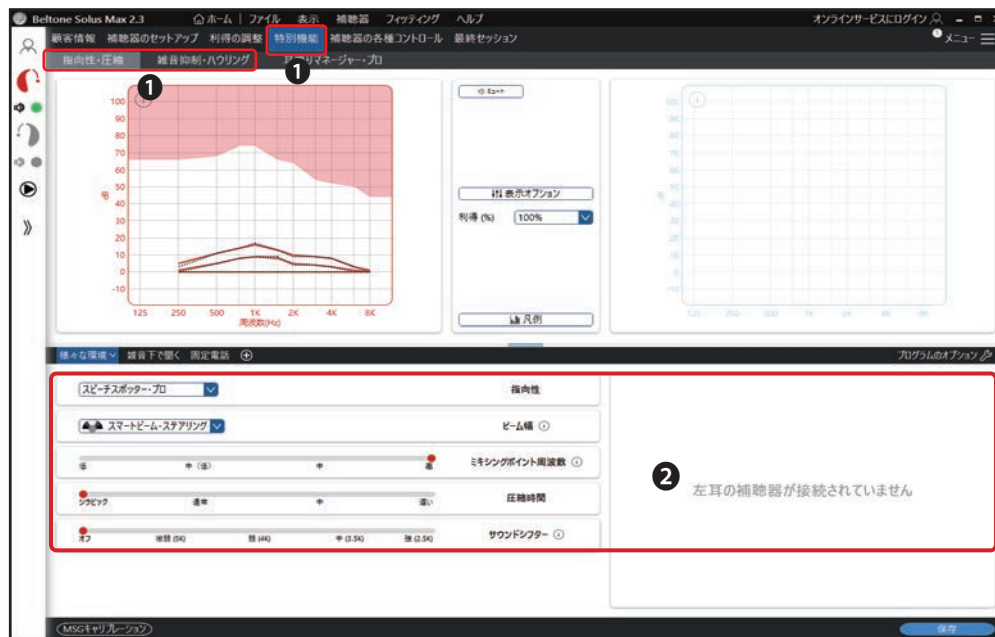
ポイント

音量は、1m程度で丁度よく、3mだと少し聞きづらい・・・が目安です。

『うるさくないように』『周りの音が響かないように』を心掛けましょう。

お客様との会話には『大きい声は使わず、ゆっくり、ハッキリ』を心掛けてください。
また、補聴器に慣れておられないお客様はMPOの数値が100を超えないように調整します。

E 快適な聞こえのために、補聴器の機能を活用します



- ステップ①** ① 「最新機能」をクリックし、目的に合わせ下段で「指向性・圧縮」「雑音抑制・ハウリング」を選びます。
- ステップ②** ② の内容から調整したい機能を選び、スライダーにて調整します。

<指向性・圧縮>

- ☆ 耳介の集音に近い自然な指向性！ S/N比向上 ……「指向性」
- ☆ 非常に困難な聴取環境でも会話をしたい！ ……「クリアフォーカス」 **Boost Max S 17**
- ☆ 無指向性処理と指向性処理が混在した周波数の調整をしたい！ ……「ミキシングポイント周波数」
- ☆ 圧縮にかかる時間を変更したい！ ……「圧縮時間」
- ☆ 聞こえづらい高周波の音を、聞こえやすい中周波数に移行したい！ ……「サウンドシフター」

<雑音抑制・ハウリング>

- ☆ ハウリングの抑制量をお客様のニーズによって変更したい！ ……「フィードバックイレーサー2」
※ 詳細は 8 ページ参照
- ☆ 環境雑音を抑制したい！ ……「サウンドクリーナー・プロ」
- ☆ 不快な風切り音を減らしたい！ ……「風切り音の減衰」
- ☆ 突発的な衝撃音を防ぎたい！ ……「インパルスノイズリダクション」
- ☆ 回路ノイズを抑制したい！ ……「サイレンサー」

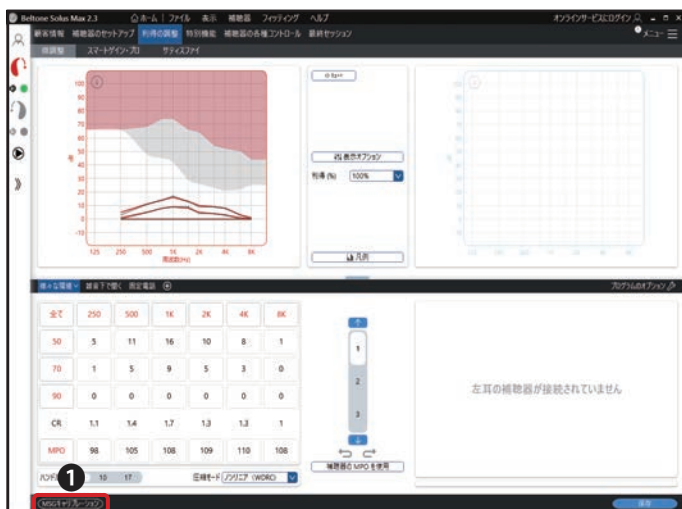
ハウリングの抑制をお客様のニーズによって変更したい!

MSGキャリブレーション を左クリック  し、ハウリング抑制処理を行います。

※ MSGキャリブレーションを行う前にも、一般的なハウリングを抑制するための「セーフガード」があらかじめ働いています。

ステップ①

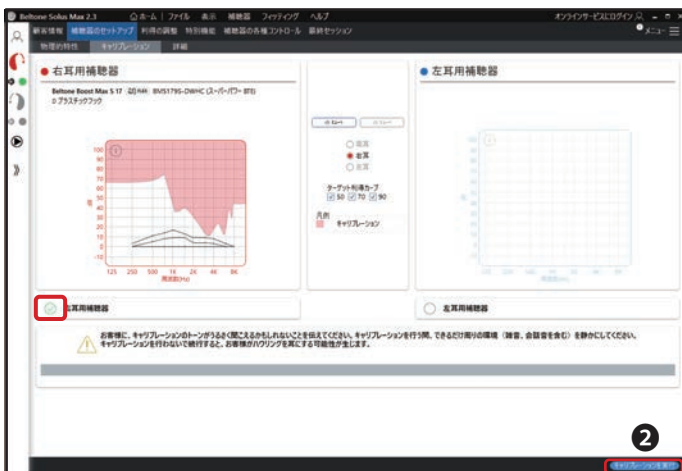
① 左下の **MSGキャリブレーション** を左クリック  します。



ステップ②

② 右下の **キャリブレーションを実行** を左クリック  します。

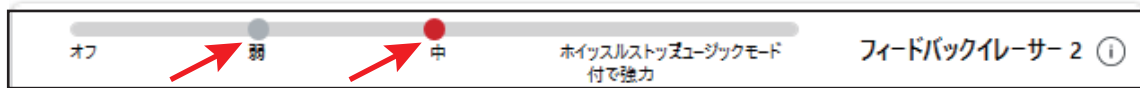
 マークが出たら、MSGキャリブレーションが完了した合図です。



周囲の環境がうるさいと、うまくいかない場合があります。お客様には検査音が鳴っている間は声を出さないように指導し、できるだけ静かな環境（静かな事務所レベル）で実行してください。

ステップ③

③ 上部の「最新機能」を左クリック  し、「フィードバックイレーサー2」部分にてハウリング抑制機能の強度の変更を行います。

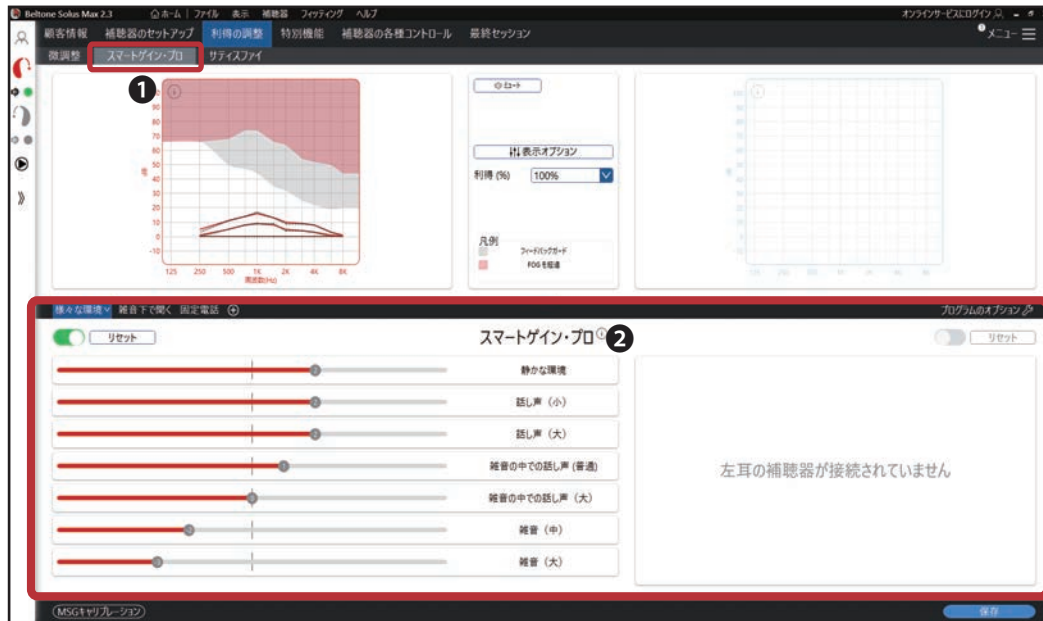


※ グレードによって選択できるポイント数が変わります。また、推奨の強さにはグレーの●印がついています。自動調整を行った場合は、推奨値に●印がついています。

F どこにいても一番良い聞こえ、スマートゲイン

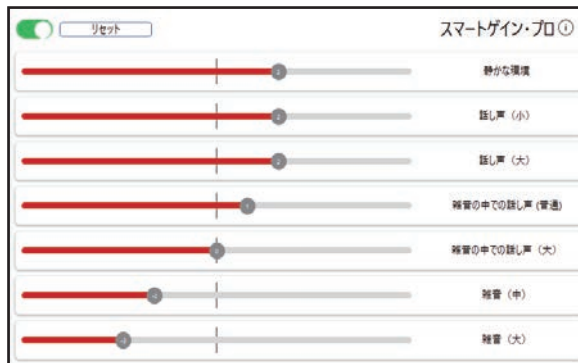
お客様がどのような音声環境にいるのかを7つに区分し、その環境に適した音量に自動調整します。

さらにスマートゲイン・プロは、7つの環境ごとに適した雑音抑制を自動選択します。



ステップ① ①「スマートゲイン・プロ」を左クリック  します。

ステップ② 初めて補聴器を使用される方は、初期の状態をおすすめします。

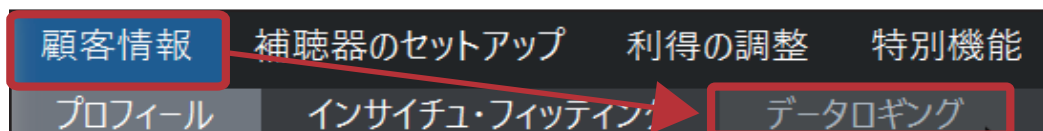


補聴器を既にお使いの方は、必要に応じてデータロギングのデータを参考にしながら ②にて調整して下さい。

ポイント

データロギングを確認したい場合

「お客様」→「データロギング」の順に左クリック  し、画面を開きます。



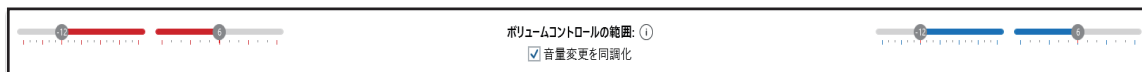
G 電池容量低下のお知らせ音などを、お客様に確認して頂きます。



補聴器の各種コントロールを使ってみます。

ステップ① フィッティングメニューの中の①「補聴器の各種コントロール」を左クリック🖱️します。

ステップ② ②の中にある「ボリュームコントロール範囲」で補聴器とリモコンのボリューム調整時の可変幅が設定できます。



ボリューム範囲の設定のみ、☒ 音量変更を同調化 にチェックが入っていれば片方の補聴器で調整した音量に反対側も自動で調整されます。

ステップ③ ③の中にある「ボタンのオプション」で補聴器のプッシュボタンのカスタマイズをすることができます。(1秒以上 長押しした場合、別の機能を使うことができます。)

»» 最小音量・ミュート/ミュート解除 より選択可能

※ 初期設定のままで良い場合は、変更の必要はありません。

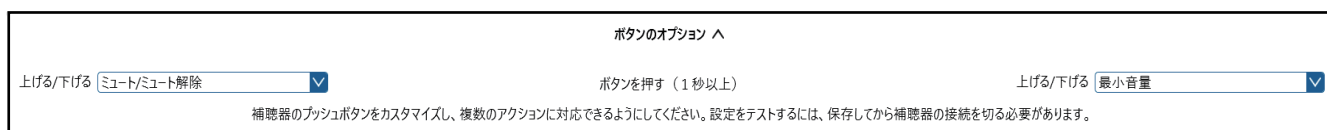
※ 初期設定

短押し⇒メモリー切り替え
長押し⇒ワイヤレス起動

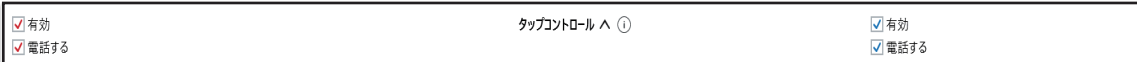


短押し⇒音量を上げる
長押し⇒設定なし

短押し⇒音量を下げる
長押し⇒設定なし

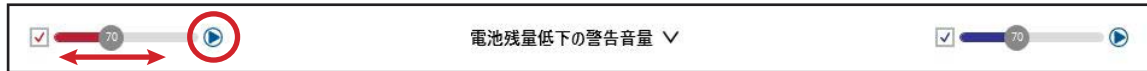


ステップ④ ④の中にある「タップコントロール」で電話着信時に補聴器をタップして出られます。

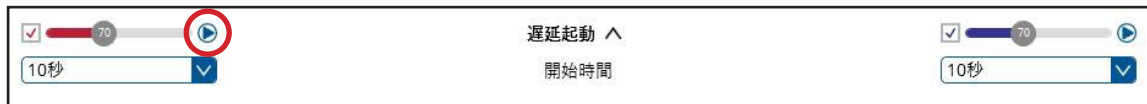


設定できたら、⑤の「標準ビープ音」タブを左クリック🖱️します。

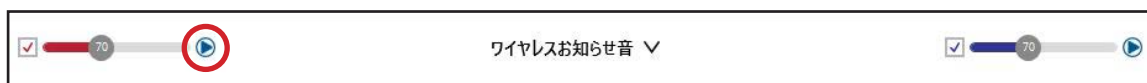
ステップ④ 「電池残量低下の警告音量」横の  を左クリックし、電池交換時のお知らせ音をお客様に確認して頂きます。また必要に応じてスライダーで音量を変更します。



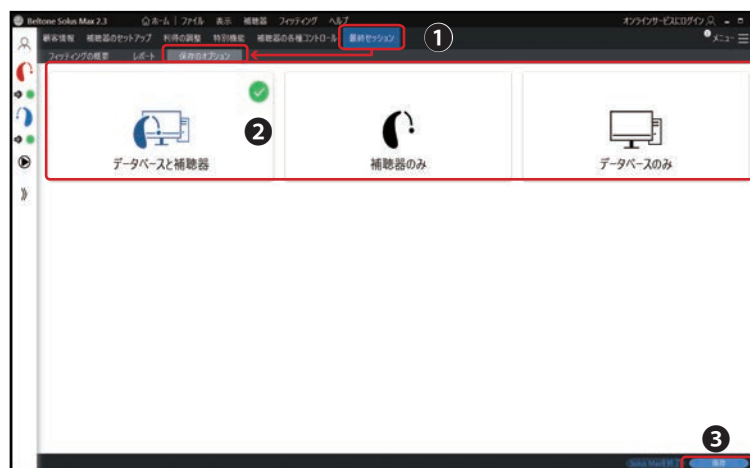
ステップ⑤ 「標準ビープ音」の中にある「遅延起動」で遅延起動の音をお客様に確認して頂きます。
※遅延起動とは、補聴器の電源が入った後、補聴器から音がでるまでの時間のことです。
初期設定は10秒ですが、5秒にも変更可能です。また、チェックを外すと「オフ」に出来ます。



ステップ⑥ ワイヤレス機器を使用している場合には、「標準ビープ音」の中にある「ワイヤレスお知らせ音」にて音の確認や音量の調整が可能です。



H 最後に、補聴器とデータを保存します。



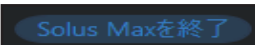
ステップ① ① 「最終セッション」→「保存のオプション」を左クリック  します。

ステップ② ② より「データベースと補聴器」が選択されていることを確認します。
※必要に応じて「補聴器のみ」「データベースのみ」もお選び頂けます。

ステップ③ ③  を左クリック  します。

ステップ④ 右の画面になれば、保存が完了です。

ステップ⑤ フィッティングを続ける場合： 

SolusMaxを終了する場合： 

を左クリック  します。



I ワイヤレス機器の調整をする場合

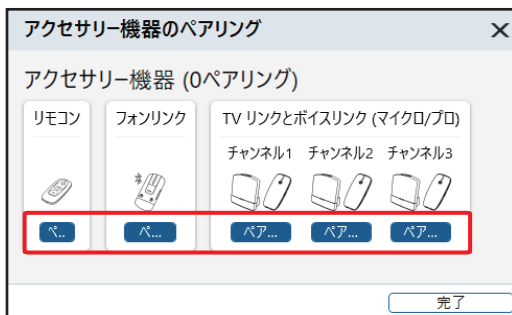
ワイヤレス機器の調整について、「補聴器の各種コントロール」部分に移行されました。
ここでは低音強調とマイクとストリーミングのバランスの調整となります。

「前世代のアクセサリ機器をペアリング」をクリックするとボイスリンクやミニリモコンとの接続が可能となります。



「補聴器の各種コントロール」⇒
「アクセサリ機器」の順で左
クリック[👆]、任意の機器のタブを
左クリック[👆]して調整します。

※ ワイヤレスストリーミングに変わ
ったときの音量は直前に使用して
いたプログラム（メモリー）の
音量となります。



「前世代のアクセサリ機器をペア
リング」を左クリック[👆]すると左図
ウインドウが開きますので、従来の
ワイヤレス機器接続を行います。
「ペア…」を左クリック[👆]して接続
します。



アプリをお使いの場合は画面下の
ワイヤレス機器の名称をタップする
とオレンジのバーが出てきます。
音量はここで変更してください。
ブルーのバーは、マイクとストリー
ミングのバランス変更用です。
通常のプログラム（メモリー）に
戻りたいときは画面下のワイヤレス
機器名称をタップするか、右補聴器
のプッシュボタンを1秒以上長押し
してください。